

梅木 加津子 議員



一括質問方式

- ① 山鳥坂ダム工事に伴う付け替え県道
- ② 新型コロナウイルス感染症対策
- ③ 歴史的資源活用事業
- ④ 加齢に伴う補聴器購入補助

山鳥坂ダム工事に伴う付け替え県道について

**問** 山鳥坂ダム工事に伴う付け替え県道「見の越トンネル」からのヒ素の検出については、通常人体に影響はないが、掘り出して空気や水に触れると亜ヒ酸・青酸カリと同等以上に変化し、水に溶けやすく河川汚染も心配されると言われている。

市としてどのように認識し、国にどのように対応を求めるのか。

**答** 水道については、土砂の搬出先近くに水源地がなく、搬出先近くの沢水、河川水について水質の分析を行った結果、環境基準を満たしているため、水道への影響はないものと考えています。

また、現場労働者やダンプの運転手の健康被害については、現時点でそのような報告は上がっていないとのこと。

今回確認された自然由来のヒ素は土壌や水中に広く含まれ、ヒジキなど海藻類をはじめ、米、シイタケ、イチゴなど多くの農産物にも含まれています。

私たちも日々の飲食で摂取しているものと認識をしていますが、定められた環境基準を超えていますので、市民の安全を最優先とした適切な対策をよう求めています。

新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 妊産婦にPCR検査を実施すると報道されたがその内容は。

また、本市でも必要なときに必要

な方が検査を受けられる体制をつくり、独自に検査を行うつもりはないか。

**答** 妊産婦のPCR検査は、県が妊産婦総合対策事業を活用して行うもので、事業実施に向け準備を進めていますので、整次第、市内の妊産婦の方に周知します。

また、県において、感染時のピーク時に対応するため、PCR検査機種の拡充や抗原検査の導入など検査体制の強化を図っていますので、市独自の検査は考えていません。

歴史的資源活用事業について

**問** 市民の皆様の暮らしや経済が悪化している中で、旧加藤家住宅、松井家住宅、町家活用は事業を凍結し、見直しをすべきと思うがどうか。

**答** 古民家改修計画の見直しについては、感染症の第2、3波で再び人の移動が制限される事態が危惧される中、古民家活用事業は、町家、古民家などを改修し、観光ビジネスに活用する民間事業を支援する

官民協働の施策であるため、活用予定事業者の事業実施に対する決意等、きめ細やかなヒアリングを行った上で、適切に判断していく必要があると考えています。

旧加藤家住宅は、休憩所を備えた城下町ホテルとして活用することとしており、指定管理者から使用料を徴収することで整備に要した市の財源の回収を考えています。

旧松井家住宅は、建物の健全性を回復させることで、建築当時のたがずまいや景観を次の時代に継承することが整備の第一の目的であり、整備後は、臥龍山荘や大洲城と同様、有料で一般公開し、本市の建築文化のすばらしさを伝えるとともに、地元での文化的活動やコミュニティ活動等での活用も可能とする予定です。

従来のツアーはもちろん、個人観光客の方にも肱南地区の観光スポットとして臥龍山荘とセットでご覧いただき、滞在時間の延長を図ることなどで地域経済の活性化に寄与したいと考えています。